人気温泉旅館ホテル250選限定企画

福島県・高湯温泉

旅館玉子湯

乳白色の天然硫黄泉

温泉・浴場

古くから奥州三高湯に数えられる、福島県高湯温泉。それを代表するのが旅館玉子湯（後藤省一社長）だ。多量に湧き出す乳白色のお湯は、加水、加温を行わない源泉かけ流しの硫黄泉。

東北屈指の薬湯としても名高く、神経痛を始め諸病に悩む人々を癒してきた。このお湯に入ると、肌が玉子のように滑らかになることと、温泉のにおいがゆで玉子に似ていることからその名が付けられた。

広々とした庭園をそぞろ歩くと、趣のある茅葺きの湯小屋「玉子湯」が140年前の創業当時と変わらぬ姿で湯浴み客を迎える。湯小屋からさらに歩くと、二つの野天岩風呂、女性専用の露天風呂、足湯が点在する。春から夏は輝く緑、秋は紅葉、冬は降り積もる雪を楽しみながら思う存分、湯めぐりを楽しみたい。

▽旅館玉子湯は福島県福島市町庭坂字高湯7。☎024（591）1171。http://www.tamagoyu.net/

秋の湯小屋「玉子湯」

山形県・蔵王温泉

タカミヤホテルグループ

源泉掛け流しの湯を24時間

温泉・浴場

タカミヤホテルグループ（岡崎彌平治社長）は、山形県内で9軒の旅館・ホテルを経営する、創業298年の老舗。蔵王温泉では「深山荘高見屋」を中心に5軒。日本海側では湯野浜、あつみ両温泉で各1軒。さらに2012年春には小野川温泉（米沢市）に「湯杜　匠味庵　山川」をオープン。昨年から白布温泉（同）で「季味の宿　山の季」を経営している。

さらにこの10月には同県草薙温泉に「高見屋最上川別邸紅」がグランドオープン。グループ旅館で県内の湯巡りが楽しめる。

中核施設の深山荘高見屋は、蔵王温泉の中でも最も奥の高台に位置する。創業は江戸時代の享保元年（1716）。間もなく創業300年を迎えようという老舗だが、歴史の重みと和モダンの内装がうまくマッチし、館内に落ち着いた雰囲気をかもし出す。

湯は自家源泉の掛け流し。湯量豊富な蔵王の湯を新鮮なまま、24時間楽しめる。

本館1階の「長寿の湯」は、露天の桶風呂も備えた内湯。創業以来の昔ながらの木造の風呂は、湯治場としての風情を感じさせる。露天風呂付き客室を備えたスイート棟「離庵山水」にある「せせらぎの湯」も、石づくりの露天風呂や露天桶風呂、ひのき湯があり、風情がある。貸し切り風呂の露天「吉備多賀湯」と「山の慈（めぐ）み湯」も人気が高い。

グループ運営の蔵王温泉内の5軒の風呂を湯めぐり気分で無料で楽しめるのも、温泉好きにはたまらない。

同館の歴史の深さを知るには、「明治天皇行在所（あんざいしょ）」など、県内外の伝統ある家屋や土蔵5棟を蔵王の地に移築、復元した施設「童（わらべ）の里」もおすすめ。天皇家からの賜り物や江戸時代の藩主らが使った湯治具など、同館に代々伝わる品を展示しており、歴史、文化面での知的好奇心を満たしてくれる。

▽深山荘高見屋は山形県山形市蔵王温泉54。☎023（694）9333。http://www.zao.co.jp/

深山荘高見屋の露天桶風呂

風情豊かな格式

福島県・土湯温泉

風望天流 太子の湯 山水荘

滝を眺める展望大浴場

温泉・浴場

福島県土湯温泉の山水荘（渡辺和裕社長）は、荒川と二段の滝を眺める展望大浴場や野湯「太子の湯」、5カ所の貸し切り風呂を持つ温泉三昧の宿で、宿泊客の心と体を癒やす。

6階の展望大浴場「瀧の湯」からは、荒川とそれを取り巻く雄大な景勝を大パノラマで、湯船に浸かりながら存分に味わえる。

もう一つの展望大浴場「淵の湯」は旅館では珍しい2階建ての造りになっており、浅湯、深湯のさまざまな湯船を楽しめる。

3階には同温泉に伝説が残る聖徳太子の名を冠した露天風呂、太子の湯がある。荒川二段の滝が圧倒的な水量で流れ落ちる様はまさに絶景。今では珍しい男女混浴制をとっているが、女性専用の時間（午後7～11時）も設けている。

▽風望天流　太子の湯　山水荘は福島県福島市土湯温泉町字油畑5。☎024（595）2141。http://www.sansuiso.jp/

太子の湯

山形県・かみのやま温泉

日本の宿 古窯

みちのくの名旅館、絶景の湯

温泉・浴場

山形県かみのやま温泉の「日本の宿　古窯」（佐藤信幸社長）。みちのく屈指の名旅館は、敷地内で発掘された、今から約1300年前の奈良時代の窯跡にちなんでその名が付けられた。館内では素焼きの皿に絵付けをしてもらう楽焼を宿泊客らに楽しんでもらい、ギャラリーでは各界の著名人が描いた約3300枚の中から、約千枚の作品を展示している。石原裕次郎、美空ひばり、坂本九、岡本太郎など、その作品の数々は古窯の歴史そのもの。人柄や思想、哲学まで表現された、個性あふれる作品を見学したい。

温泉は「三大美人泉質」とうたわれる良質の湯で、泉質は「ナトリウム・カルシウム・塩化物・硫酸塩温泉」。温泉に含まれるメタケイ酸が肌の水分や脂を適度に保つほか、表皮細胞の角質化を促進し、しっとりとキメ細かい肌をつくってくれる。メタケイ酸は温泉千ミリリットルに対し、包含量50ミリグラム以上なら美肌に有効だとされているが、古窯の温泉は76ミリグラムと抜群に多い。

浴場は1階の大浴場「紅花風呂」と8階の展望大浴場。紅花風呂は昔、山形の紅花が北前船で京都に運ばれた史実にならい、原型の10分の1サイズの北前船をヒノキで再現したもの。和の情緒があふれる趣のある風呂だ。ほかに高温サウナや、日常の自然環境ではほとんど体験できないマイナス5度近くの冷温サウナ「かまくらサウナ」がある。温泉入浴、冷温サウナ、高温サウナに繰り返し入ることで体の新陳代謝効果を得られるという。

一方、展望大浴場は、雄大な蔵王連峰と歌聖・斎藤茂吉のふるさと上山市街の景色を一望できる絶景の湯。夏は満天の星空、冬は連峰の雪景色と、季節によってさまざまな景色を楽しめる。

ほかに、3階の貸し切り風呂、2・4階の露天風呂付き客室と、温泉を楽しむ施設は枚挙にいとまがない。

▽日本の宿　古窯は山形県上山市葉山5の20。☎023（672）5454。http://www.koyoga.com/

8階展望大浴場

露天風呂付き客室

栃木県・日光温泉

日光千姫物語

こだわりの月替わり懐石

料理・食事

世界遺産の日光東照宮にほど近い栃木県日光温泉の日光千姫物語（根本芳彦社長）は、月ごとに献立がかわる懐石料理「千姫御膳」が評判だ。旬の食材をふんだんに取り入れ和洋の料理人が腕をふるう。料理へのこだわりに加え、浴場や客室にも趣向をこらし旅行者を癒す。昨年12月には男性用ジェットバスを新たにオープンさせた。

夕食としてメインで提供する月替わり懐石「千姫御膳」は、和食の粋とフレンチの華やかさの両方が楽しめる。さらなる贅を求める宿泊客には、千姫御膳をグレードアップさせた「厳選懐石膳」を薦めている。ブランド牛の「とちぎ和牛」や地元産の湯波をはじめ、旬の食材を使ったこだわりの料理でもてなす。また質はそのままで量を加減した「控え目懐石膳」の用意を行っている。

美と健康を気遣う女性向けに「ヘルシーメニュー」もプランに加えた。地元の野菜を中心にカロリーを抑えたこだわりの料理を提供する。

夕食では厳選素材を使用した「フレンチコース」も選択できる。朝食にも心を尽くし、チェックイン時に和食と洋食を選べるようになっている。

完全予約制の昼食は、月替わり懐石、湯波懐石、精進料理、ビフテキ御膳などをそろえる。昼食に合わせて入浴プランをセットすることも可能だ。

客室は44室。和室は全室南向きで窓からは鳴虫山と大谷川の渓谷を眺めることができる。スタンダードな和室のほか、和洋特別室は3部屋、露天風呂付き和室は3部屋。

ウッドデッキが備えられた庭園風の露天風呂では日光の四季の移り変わりを感じることができる。昨年末には男性浴場にジェットバスがオープンした。女性浴場には肌や髪に潤いを与えるテレマーレミストサウナや美容効果の高いシルキーバスを備えている。

▽日光千姫物語は栃木県日光市安川町6の48。☎0288（54）1010。http://www.senhime.co.jp/

月替わり懐石の厳選懐石膳

ウッドデッキテラスが付いた庭園風の露天風呂

神奈川県・箱根湯本温泉

ホテル河鹿荘

湯量豊富な名湯を満喫

温泉・浴場

9本の自家源泉を持ち、豊富な湯量を誇る神奈川県箱根湯本温泉のホテル河鹿荘（井島誠行社長）。展望抜群の「清流の湯」と川のせせらぎを感じる「早雲の湯」、二つの大浴場が好評だ。

清流の湯は6階の展望露天風呂。木目が美しいウッドテラスに4タイプの露天風呂を備えた「ほしみ四湯」や檜でできた樽型の「はなみの湯」などがある。2階の早雲の湯は、岩と檜の二つの露天風呂と内湯。内湯は幅が18メートルと広々とし、窓が大きくて明るい。

清流の湯と早雲の湯は男女入れ替え制で、1泊2日の滞在でも朝湯に入れば両方を堪能できる。

67の客室のうち15室が露天風呂付き。毎月献立を変える料理も自慢で、相模湾の旬の魚介を中心に逸品がそろう。自然豊かな立地だが、東京から新幹線で60分と交通の利便性もよい。

▽ホテル河鹿荘は神奈川県足柄下郡箱根町湯本688。☎0460（85）5561。http://www.kajikaso.co.jp/

露天風呂を備えた「清流の湯」

栃木県・鬼怒川温泉

あさや

多彩な浴場、ブッフェも魅力

温泉・浴場

栃木県鬼怒川温泉のあさや（八木澤哲男社長）は、豊富な湯量を誇る自家源泉を持ち、抜群の展望を備えた屋上階の露天風呂をはじめ、多種多様な浴場が自慢だ。

館は開放的な吹き抜けのロビーが印象的な「秀峰館」と、古き良き日本の温泉旅館の情緒が漂う「八番館」で構成。温泉は鬼怒川の川底から湧き出る自家源泉。アルカリ性単純温泉の湯で肌触りが良い。

秀峰館の屋上には、川面から約80メートルという鬼怒川で最も高い場所に空中庭園露天風呂「昇龍の湯」がある。総檜造りの船形の浴槽のほか、岩風呂、桶風呂があり、男女入れ替え制で楽しめる。貸切風呂の「打ち出の小槌の湯」もある。

八番館の大浴場「滝の湯」は内湯と露天風呂、寝湯、座湯など。女性客用にはナノミストサウナやシルキー風呂もある。

客室数は計192室。その中にはシモンズ社製ベッドを配した禁煙ルーム「洋室ハリウッドタイプ」28室、「露天風呂付き客室」6室も備えている。

食事はブッフェコースの人気が高い。地元の旬の素材を和洋中100種類以上の料理で提供。オープンキッチンでは目の前で天ぷら、ステーキなどを調理する。デザートコーナーも充実。もちろんコースによっては部屋や個室、宴会場での和食膳を選ぶことができる。

9月9日には館内の2施設が新しくなる。ラグジュアリーなひと時が過ごせるバー「ザ・バー」がオープン。バーテンダーがオリジナルカクテルなどを提供する。居酒屋「きぬの蔵」もリニューアルオープン。地酒や焼酎が楽しめる和モダンな空間で、「大人の隠れ家」のような個室風の席も用意している。

また、商品化以降、大好評の「あさや特製和牛カレー」も発売中。ブッフェでは、そのオリジナルが味わえる。

▽あさやは栃木県日光市鬼怒川温泉滝813。☎0288（77）1111。http://www.asaya-hotel.co.jp/

空中庭園露天風呂「昇龍の湯」

人気が高いブッフェ

新潟県・瀬波温泉

夕映えの宿 汐美荘

夕陽と湯浴みを楽しむ

温泉・浴場

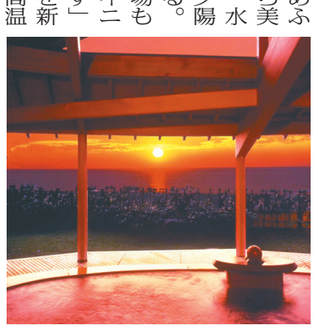
水平線に沈む夕陽の美しさが感動的な新潟県瀬波温泉。同温泉屈指の名旅館、今年創業50周年を迎えた夕映えの宿汐美荘（浅野謙一社長）は、風呂の種類も多く、夕陽を見ながらの湯浴みは、まさに至福のひとときだ。

温泉に対するこだわりは「温泉湯師」の存在が証明している。93度という高温の源泉を気温や風速のバランスを配慮して適度な湯温に調整。プロの匠の技が名湯を支えている。

2011年3月には、南館6階の客室をリニューアル。「Theオーシャン倶楽部」として新たにオープンした。源泉かけ流し露天風呂付きのスイートルーム、テラス付きベッドルームなど計7室。高級感あふれる客室から美しい日本海、水平線に沈む夕陽を眺められる。

夕朝食会場も「蒸気源ダイニングはまなす」として装いを新たにした。高温の源泉を使って蒸し上げる「源泉蒸し料理」を提供する。日本海の新鮮な幸、日本一にもなったブランド牛、村上牛など、ここでしか味わえないものを堪能してもらいたい。

▽夕映えの宿汐美荘は新潟県村上市瀬波温泉2の9の36。☎0254（53）4288。http://www.shiomiso.co.jp/


男性露天風呂「朝凪」